

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日
上場取引所 大

上場会社名 ラックホールディングス株式会社
コード番号 3857 URL <http://www.lachd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米田 光伸
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 伊藤 信博
四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月12日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-6757-0100
平成23年12月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|------|------|-------|--------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 15,107 | △4.8 | 594 | 77.6 | 488 | 110.3 | 143 | 1.8 |
| 23年3月期第2四半期 | 15,867 | 8.2 | 334 | — | 232 | — | 140 | — |

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 111百万円 (△62.0%) 23年3月期第2四半期 292百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 3.73 | — |
| 23年3月期第2四半期 | 1.68 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 19,079 | 6,114 | 32.0 | 199.23 |
| 23年3月期 | 20,143 | 7,245 | 35.9 | 203.50 |

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 6,105百万円 23年3月期 7,232百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 23年3月期 | — | 4.00 | — | 6.00 | 10.00 |
| 24年3月期 | — | 4.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 6.00 | 10.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、(参考)「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 33,500 | 0.3 | 1,500 | 0.7 | 1,235 | △5.1 | 470 | △44.8 | 14.67 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考)連結EBITDA予想 通期 2,736百万円

1株当たり当期純利益の金額は、平成23年5月13日の決算短信で公表いたしました平成24年3月期の連結業績予想において10円86銭(通期)としておりましたが、平成23年6月24日付でA種優先株式10株のうちの5株を消却したことにより、14円67銭となります。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期2Q | 26,683,120 株 | 23年3月期 | 26,683,120 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 1,303,130 株 | 23年3月期 | 1,452,390 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期2Q | 25,319,118 株 | 23年3月期2Q | 25,586,168 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]7ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 連結業績及び連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る数値です。

(参考)

1. 種類株式の配当の状況

当社は、平成21年11月30日付でA種優先株式10株を1株当たり200百万円の発行価額にて発行しております。また、平成23年6月24日に5株を消却した結果、平成23年9月30日現在の当優先株式残高は5株となっております。当優先株式は非上場であり、年9.80%の配当率にて配当が付されております。

なお、普通株式と権利関係の異なる種類株式に係わる1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------------|--------|--------------|---------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| A種優先株式 | | | | | |
| 23年3月期 | — | 9,800,000 00 | — | 9,800,000 00 | 19,600,000 00 |
| 24年3月期 | — | 9,800,000 00 | | | |
| 24年3月期(予想) | | | — | 9,800,000 00 | 19,600,000 00 |

以上のとおり、1株当たり19,600,000円00銭の配当により、平成24年3月期通期の当優先株式の配当金総額は、98百万円を予定しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 6 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 7 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 8 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 8 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 8 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 8 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 9 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 9 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 11 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 11 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 12 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 13 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 15 |
| (5) セグメント情報等 | 15 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 16 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月の東日本大震災以降停滞していた生産活動はサプライチェーンの立て直しや各種の政策効果などにより回復に向かっていますが、電力供給の制約や円高・株安の進行、欧州の財政不安など、景気が下振れするリスクが内在する不透明な状況で推移しました。

当社グループの属する情報サービス業界においても、新規案件の延期や小型化、提供サービス価格の低減要請などがみられ、企業のIT投資は依然として慎重な姿勢が継続しました。

このような状況のなか、当社グループは、多発する大規模な個人情報漏えい事件や、企業・官公庁をターゲットとした標的型メールによるサイバー攻撃などが大きな社会問題となるなか、疑似標的型メール攻撃による情報セキュリティ体験学習プログラム「ITセキュリティ予防接種」の提供や、シスコ社の大容量データ転送の高性能セキュリティ機器に対応した運用監視サービスの提供を開始いたしました。さらに、日本スマートフォンセキュリティフォーラム(JSSSEC)の設立への参画や、サイバーセキュリティ対策関連機関への積極的な参加など、セキュリティ技術の調査・研究やセキュリティ意識の向上に向けた取り組みを行ってまいりました。また、電力使用量を可視化し節電に貢献する総合エネルギー管理システムの販売を開始するなど、新規ソリューションの創出に努めてまいりました。

加えて、来年4月に予定している事業会社3社との統合に向け、組織統合委員会を発足させ準備を進めるとともに、グループ内の営業組織の統合的な運営による共同提案を推進し、既存顧客の利益拡大に注力してまいりました。資本政策面では、A種優先株式の一部取得および消却を実施したほか、経営責任の明確化と業績向上への貢献意欲を高めるため、当社グループの役員などを対象に第三者割当により自己株式を処分するなど、財務体質の改善に努めてまいりました。

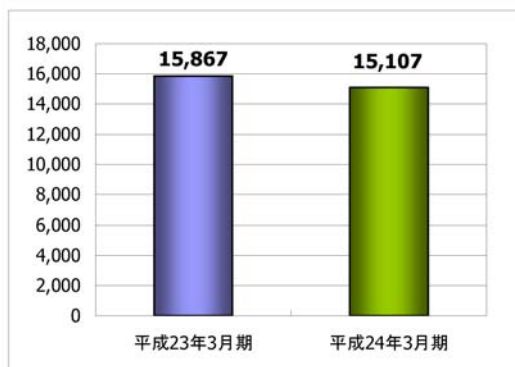
当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、セキュリティソリューションサービス事業（以下、SSS事業という。）では増加しましたが、システムインテグレーションサービス事業（以下、SIS事業という。）とディーラー事業は減少し、151億7百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。利益面では、売上の減少にともない、売上総利益が前年同四半期に比べ60百万円減少しましたが、利益率の高いサービス売上が増加したため売上総利益率は前年同四半期に比べ0.6ポイント上昇いたしました。さらに、グループ全体でコスト低減に努めたことにより、営業利益は5億94百万円（前年同四半期比77.6%増）、経常利益は4億88百万円（前年同四半期比110.3%増）、四半期純利益は1億43百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における業績の前年同四半期比は次のとおりであります。

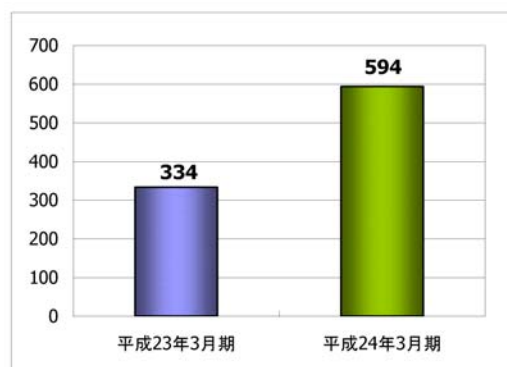
(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日) | 前年同四半期比 | |
|-------------|--|--|---------|------------|
| | | | 増減額 | 増減率 (%) |
| 売上高 | 15,867 | 15,107 | △759 | △4.8 |
| 売上原価 | 12,579 | 11,880 | △699 | △5.6 |
| 売上総利益 | 3,287 | 3,227 | △60 | △1.8 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,953 | 2,633 | △320 | △10.8 |
| 営業利益 | 334 | 594 | 259 | 77.6 |
| 経常利益 | 232 | 488 | 256 | 110.3 |
| 四半期純利益 | 140 | 143 | 2 | 1.8 |
| E B I T D A | 928 | 1,210 | 281 | 30.4 |

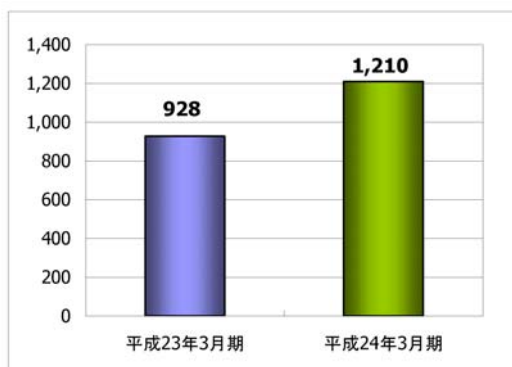
[連結売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[連結営業利益の前年同四半期比 単位:百万円]



[連結EBITDAの前年同四半期比 単位:百万円]



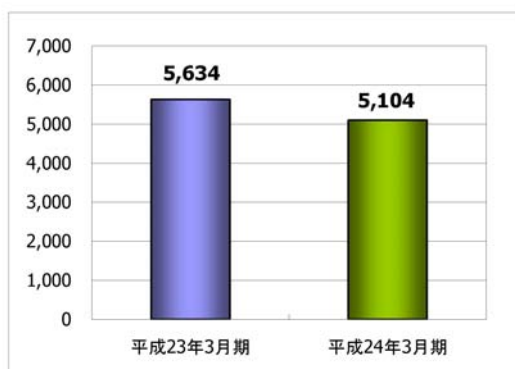
セグメントの業績は次のとおりであります。

システムインテグレーションサービス事業 (S I S 事業)

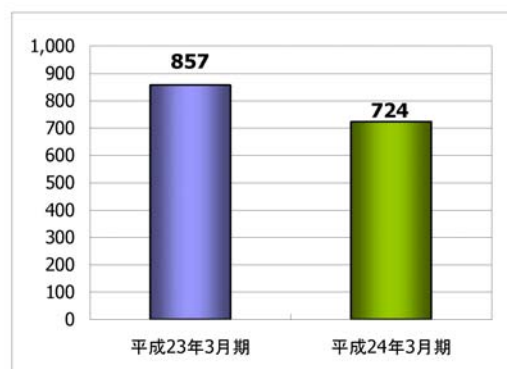
(単位: 百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日) | 前年同四半期比 | |
|-------------|--|--|---------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 (%) |
| 開発サービス | 5,096 | 4,651 | △444 | △8.7 |
| ソリューションサービス | 286 | 295 | 8 | 3.1 |
| 関連商品 | 252 | 157 | △94 | △37.6 |
| 売上高 | 5,634 | 5,104 | △530 | △9.4 |
| セグメント利益 | 857 | 724 | △132 | △15.5 |

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



開発サービスは、一部製造業案件が伸長しましたが、銀行関連案件の開始時期遅延や、案件縮小などの影響から、売上高は46億51百万円（前年同四半期比8.7%減）となりました。

ソリューションサービスは、自治体向け案件が堅調に推移し、売上高は2億95百万円(同3.1%増)となりました。

関連商品は、インフラ構築にともなう新規製品販売が減少し、売上高は1億57百万円(同37.6%減)となりました。

この結果、SIS事業の売上高は51億4百万円(同9.4%減)、セグメント利益は7億24百万円(同15.5%減)となりました。

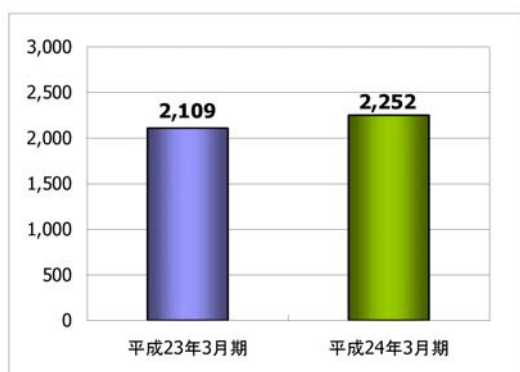
セキュリティソリューションサービス事業 (SSS事業)

(単位:百万円)

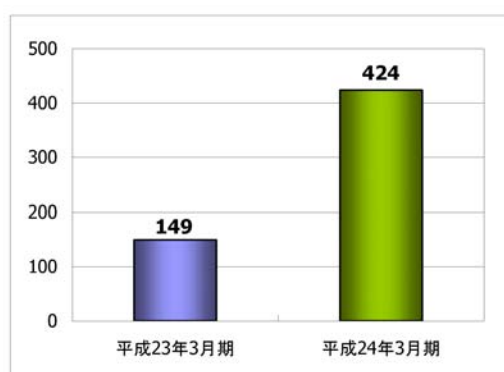
| | 前第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日) | 前年同四半期比 | |
|--------------|--|--|---------|------------|
| | | | 増減額 | 増減率 (%) |
| コンサルティングサービス | 585 | 657 | 71 | 12.2 |
| 構築サービス | 57 | 1,267 | 162 | 14.7 |
| 運用監視サービス | 1,047 | | | |
| 関連商品 | 418 | 327 | △90 | △21.6 |
| 売上高 | 2,109 | 2,252 | 143 | 6.8 |
| セグメント利益 | 149 | 424 | 275 | 183.9 |

(注) 構築サービスは、当期より監視サービスに関連する案件の取扱いに限定するため、運用監視サービスに含めております

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



コンサルティングサービスは、大規模な個人情報漏えい事件や企業・官公庁をターゲットとした標的型メールによるサイバー攻撃などの多発により、緊急対応にともなうコンサルティング案件が増加し、売上高は6億57百万円(前年同四半期比12.2%増)となりました。

運用監視サービスは、情報セキュリティへの関心の高まりから診断サービスの新規受注が増加し、また監視サービスにおいても既存案件の契約更新が堅調に推移し、売上高は12億67百万円(同14.7%増)となりました。

関連商品は、提供するサービスに付随する商品および保守の販売に絞り込んだことにより、売上高は3億27百万円(同21.6%減)となりました。

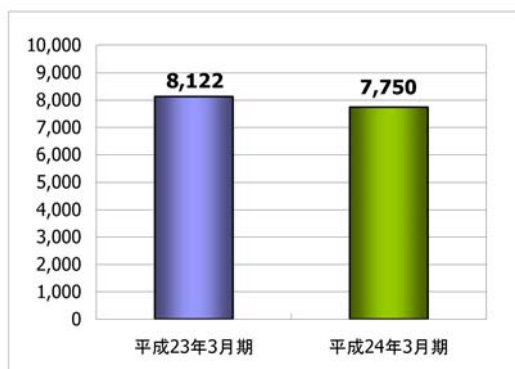
この結果、SSS事業の売上高は22億52百万円(同6.8%増)、セグメント利益は4億24百万円(同183.9%増)となりました。

ディーラー事業

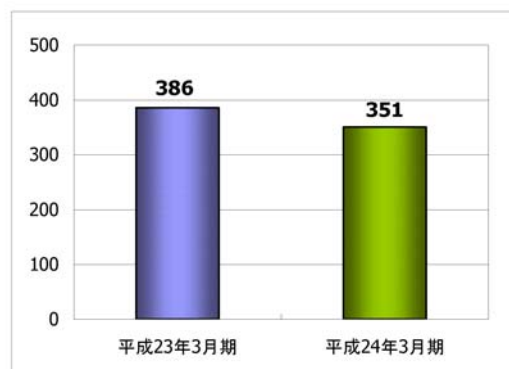
(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日) | 前年同四半期比 | |
|---------|--|--|---------|------------|
| | | | 増減額 | 増減比 (%) |
| HW/SW販売 | 3,698 | 3,070 | △627 | △17.0 |
| SEサービス | 1,173 | 1,519 | 346 | 29.5 |
| 保守サービス | 3,250 | 3,159 | △90 | △2.8 |
| 売上高 | 8,122 | 7,750 | △372 | △4.6 |
| セグメント利益 | 386 | 351 | △35 | △9.1 |

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



HW/SW販売は、主力銀行、官公庁向けなどで見込んでいた大型案件の失注・受注の遅れや、案件の小型化などにより、売上高は30億70百万円（前年同四半期比17.0%減）となりました。

SEサービスは、前期下期に受注した案件にともなう、システム構築や導入サービス、およびそれに付随する運用サービスなどが寄与し、売上高は15億19百万円（同29.5%増）となりました。

保守サービスは、サービス価格の低減要請や、契約更新の不調などにより、売上高は31億59百万円（同2.8%減）となりました。

この結果、ディーラー事業の売上高は77億50百万円（同4.6%減）、セグメント利益は3億51百万円（同9.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億63百万円減少し、190億79百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少13億17百万円、受取手形及び売掛金の減少4億60百万円、前払費用の増加10億78百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ66百万円増加し、129億64百万円となりました。これは主に買掛金の減少1億20百万円、短期借入金の増加10億1百万円、未払法人税等の減少2億10百万円、前受収益の増加8億90百万円、長期借入金の減少11億83百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ11億30百万円減少し、61億14百万円となりました。これは主に優先株式の取得及び消却などによる資本剰余金の減少10億29百万円、期末配当などによる利益剰余金の減少1億6百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は32.0%となりました。

(2) キャッシュ・フローに関する分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、16億67百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億17百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、8億32百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益4億80百万円に減価償却費2億45百万円、のれん償却額3億70百万円、売上債権の減少額4億59百万円、仕入債務の減少額1億21百万円、法人税等の支払額4億4百万円等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5億60百万円になりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億8百万円、ソフトウェアの取得による支出4億38百万円等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、15億73百万円となりました。これは主に短期借入金の純増加額10億1百万円、長期借入金の返済による支出13億83百万円、優先株式などの自己株式の取得による支出10億23百万円、配当金の支払額2億48百万円等を反映したものであります。

(参考) キャッシュ・フロー指標のトレンド

| | 平成22年3月期 第2四半期 連結累計期間 | 平成23年3月期 第2四半期 連結累計期間 | 平成24年3月期 第2四半期 連結累計期間 | 平成22年3月期 | 平成23年3月期 |
|---|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------|----------|
| 自己資本比率 (%) | 22.5 | 32.2 | 32.0 | 30.6 | 35.9 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 25.5 | 23.6 | 46.2 | 22.9 | 27.6 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%) | 308.4 | 349.5 | 419.4 | 347.2 | 322.8 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | 17.6 | 13.0 | 12.1 | 13.2 | 15.2 |
| E B I T D A (百万円) | 492 | 928 | 1,210 | 1,852 | 2,781 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円) | 1,765 | 1,009 | 832 | 2,493 | 2,244 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円) | △718 | 242 | △560 | △1,248 | 962 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円) | △999 | △1,839 | △1,573 | △1,336 | △2,586 |
| フリーキャッシュ・フロー (百万円) | 1,046 | 1,252 | 272 | 1,244 | 3,207 |
| ネットキャッシュ・フロー (百万円) | 47 | △594 | △1,317 | △87 | 609 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期(当期)純損失(△)(EPS)(円) | △17.69 | 1.68 | 3.73 | △18.57 | 25.73 |
| 1株当たりの営業キャッシュ・フロー(円) | 68.02 | 39.44 | 32.89 | 96.75 | 88.16 |
| 1株当たりのフリーキャッシュ・フロー(円) | 40.34 | 48.94 | 10.77 | 48.29 | 125.96 |

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

E B I T D A：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

フリーキャッシュ・フロー：営業キャッシュ・フロー＋投資キャッシュ・フロー

ネットキャッシュ・フロー：現金及び現金同等物の増減額

- (1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- (2) 時価ベースの自己資本比率における株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
- (3) キャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオにおけるキャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。
- (4) キャッシュ・フロー対有利子負債比率における有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利息を支払っている全ての負債を対象としております。
- (5) キャッシュ・フロー対有利子負債比率の当第2四半期連結累計期間での計算は、営業キャッシュ・フローを年換算しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間につきましては、業績予想の修正を平成23年10月17日に公表いたしました。わが国経済は、東日本大震災の大打撃から予想以上のスピードで持ち直してきているものの、長引く円高や株安、世界経済の減速により景気の先行き不透明感が増していることなどから、通期連結業績予想ならびに通期個別業績予想は平成23年5月13日の公表値から現時点では変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,984,529 | 1,667,518 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,909,491 | 4,448,826 |
| 商品 | 358,528 | 140,979 |
| 仕掛品 | 180,179 | 455,531 |
| 貯蔵品 | 3,617 | 2,914 |
| 前払費用 | 1,754,215 | 2,832,720 |
| その他 | 376,161 | 377,541 |
| 貸倒引当金 | △2,311 | △2,075 |
| 流動資産合計 | 10,564,411 | 9,923,957 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,241,670 | 1,242,266 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 3,559,816 | 3,187,726 |
| その他 | 1,230,195 | 1,392,896 |
| 無形固定資産合計 | 4,790,012 | 4,580,622 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 2,097,920 | 1,936,527 |
| その他 | 1,449,194 | 1,395,994 |
| 投資その他の資産合計 | 3,547,114 | 3,332,521 |
| 固定資産合計 | 9,578,798 | 9,155,411 |
| 資産合計 | 20,143,210 | 19,079,368 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,931,254 | 1,810,417 |
| 短期借入金 | 606,765 | 1,608,732 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 980,000 | 980,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 234,000 | 167,000 |
| 未払法人税等 | 381,616 | 171,047 |
| 前受収益 | 1,847,825 | 2,738,642 |
| 賞与引当金 | 72,959 | 63,674 |
| 受注損失引当金 | 24,382 | 8,588 |
| その他 | 1,515,409 | 1,437,946 |
| 流動負債合計 | 7,594,213 | 8,986,049 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 250,000 | 200,000 |
| 長期借入金 | 4,532,000 | 3,348,600 |
| 退職給付引当金 | 55,673 | 52,449 |
| 負ののれん | 4,947 | 3,847 |
| その他 | 461,367 | 373,641 |
| 固定負債合計 | 5,303,987 | 3,978,539 |
| 負債合計 | 12,898,201 | 12,964,588 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 資本剰余金 | 5,675,838 | 4,646,462 |
| 利益剰余金 | 975,997 | 869,981 |
| 自己株式 | △368,426 | △330,636 |
| 株主資本合計 | 7,283,408 | 6,185,807 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △36,293 | △53,307 |
| 繰延ヘッジ損益 | △2,111 | — |
| 為替換算調整勘定 | △12,640 | △27,125 |
| その他の包括利益累計額合計 | △51,045 | △80,433 |
| 少数株主持分 | 12,644 | 9,406 |
| 純資産合計 | 7,245,008 | 6,114,780 |
| 負債純資産合計 | 20,143,210 | 19,079,368 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 売上高 | 15,867,601 | 15,107,736 |
| 売上原価 | 12,579,698 | 11,880,053 |
| 売上総利益 | 3,287,903 | 3,227,683 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,953,229 | 2,633,192 |
| 営業利益 | 334,674 | 594,491 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 298 | 127 |
| 受取配当金 | 15,644 | 1,129 |
| 負ののれん償却額 | 1,099 | 1,099 |
| 保険解約返戻金 | — | 1,591 |
| その他 | 7,952 | 7,920 |
| 営業外収益合計 | 24,995 | 11,869 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 75,281 | 61,200 |
| 支払手数料 | 47,746 | 53,395 |
| その他 | 4,172 | 2,779 |
| 営業外費用合計 | 127,200 | 117,374 |
| 経常利益 | 232,468 | 488,985 |
| 特別利益 | | |
| 子会社株式売却益 | 111,959 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 11,113 | — |
| 本社移転損失引当金戻入額 | 34,244 | — |
| 特別利益合計 | 157,317 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 35,352 | 751 |
| 事務所移転費用 | 49,151 | — |
| 特別退職金 | 35,200 | 7,340 |
| 減損損失 | 2,550 | — |
| 特別損失合計 | 122,255 | 8,092 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 267,530 | 480,893 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 167,732 | 151,667 |
| 法人税等調整額 | △41,233 | 186,840 |
| 法人税等合計 | 126,499 | 338,508 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 141,031 | 142,385 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 144 | △984 |
| 四半期純利益 | 140,887 | 143,369 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 141,031 | 142,385 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 157,244 | △17,013 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1,436 | 2,111 |
| 為替換算調整勘定 | △6,748 | △16,110 |
| その他の包括利益合計 | 151,932 | △31,013 |
| 四半期包括利益 | 292,964 | 111,371 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 293,915 | 113,981 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △950 | △2,609 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 267,530 | 480,893 |
| 減価償却費 | 220,975 | 245,090 |
| 減損損失 | 2,550 | — |
| のれん償却額 | 373,005 | 370,991 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △11,113 | △223 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 10,123 | △9,285 |
| 受注損失引当金の増減額(△は減少) | 3,492 | △15,794 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 6,183 | △1,876 |
| 受取利息及び受取配当金 | △15,943 | △1,257 |
| 支払利息 | 75,281 | 61,200 |
| 為替差損益(△は益) | 1,646 | 27 |
| 固定資産除却損 | 35,352 | 751 |
| 事業所移転費 | 49,151 | — |
| 子会社株式売却損益(△は益) | △111,959 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 1,284,689 | 459,558 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △200,320 | △57,682 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | △895,152 | △1,010,676 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △912,488 | △121,004 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △83,455 | 14,918 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | 1,429,390 | 852,785 |
| その他 | 7,341 | 36,469 |
| 小計 | 1,536,280 | 1,304,887 |
| 利息及び配当金の受取額 | 16,103 | 1,257 |
| 利息の支払額 | △77,787 | △69,048 |
| 移転費用の支払額 | △241,578 | — |
| 法人税等の支払額 | △223,901 | △404,252 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,009,116 | 832,844 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △133,254 | △108,570 |
| ソフトウェアの取得による支出 | △357,803 | △438,869 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入 | 184,512 | — |
| 貸付けによる支出 | △18,874 | — |
| 貸付金の回収による収入 | 30,696 | 429 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △9,362 | △13,523 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 547,075 | 360 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 242,988 | △560,172 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| リース債務の返済による支出 | △19,045 | △33,708 |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △462,500 | 1,001,966 |
| 長期借入れによる収入 | — | 200,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,023,000 | △1,383,400 |
| 社債の償還による支出 | △117,000 | △117,000 |
| 自己株式の売却による収入 | 29 | 31,524 |
| 自己株式の取得による支出 | △125 | △1,023,110 |
| 配当金の支払額 | △218,065 | △248,793 |
| 少数株主への配当金の支払額 | — | △629 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,839,707 | △1,573,150 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △6,403 | △16,532 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △594,006 | △1,317,011 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,375,516 | 2,984,529 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,781,509 | 1,667,518 |

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|-------------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | システムイ ンテグレー ションサー ビス事業 | セキュリ ティソリ ューショ ンサービ ス事業 | ディーラー 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上 高 | 5,634,916 | 2,109,446 | 8,122,638 | 15,867,001 | 600 | 15,867,601 | — | 15,867,601 |
| セグメント間の内 部売上高又は振替 高 | 90,870 | 18,882 | 106,874 | 216,628 | — | 216,628 | △216,628 | — |
| 計 | 5,725,787 | 2,128,329 | 8,229,512 | 16,083,629 | 600 | 16,084,229 | △216,628 | 15,867,601 |
| セグメント利益 | 857,915 | 149,665 | 386,484 | 1,394,066 | 600 | 1,394,666 | △1,059,992 | 334,674 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の非連結子会社に対する業務受託収入であります。

2. セグメント損失の調整額△1,059,992千円には、セグメント間取引消去△4,722千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,055,269千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「セキュリティソリューションサービス事業」セグメントにおいて、サービスの提供終了に関する意思決定を行ったことにより、回収可能価額が著しく低下していると認められる資産として認識されたソフトウェアについて、回収可能価額をゼロとして、減損損失を認識するものであります。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において2,550千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|-------------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | システムイ ンテグレー ションサー ビス事業 | セキュリ ティソリ ューショ ンサービ ス事業 | ディーラー 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上 高 | 5,104,241 | 2,252,675 | 7,750,123 | 15,107,040 | 696 | 15,107,736 | — | 15,107,736 |
| セグメント間の内 部売上高又は振替 高 | 138,531 | 10,440 | 78,970 | 227,943 | — | 227,943 | △227,943 | — |
| 計 | 5,242,773 | 2,263,115 | 7,829,094 | 15,334,983 | 696 | 15,335,680 | △227,943 | 15,107,736 |
| セグメント利益 | 724,977 | 424,958 | 351,347 | 1,501,283 | 696 | 1,501,980 | △907,489 | 594,491 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の非連結子会社に対する業務受託収入等であります。
2. セグメント利益の調整額△907,489千円には、セグメント間取引消去71,180千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△978,670千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月24日付で、A種優先株式5株を取得し、同日付で消却いたしました。この結果、第1四半期連結会計期間においてその他資本剰余金が1,022,821千円減少し、当第2四半期連結会計期間末における資本剰余金は4,646,462千円となっております。